

平成22年度 9月分NGO相談員対応結果

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

9月に入ってフェアトレードに対する相談が増えてきている。特に学校が教育の現場にとりいれたいと考えているケースが多く、1年間のカリキュラムの中でいかにこちらがかかわってゆくことができるかということ強く感じた。教育という長いスパンでの活動の中で、NGOの話を聞いたり、体験をする、フェアトレードについて知ることは教育の中が広がることであり、NGOとしても大いに教育との連携を進めてゆく必要性を感じた。また、学生と退職者双方に、NGO業界への関心が高まっているところも面白い傾向だ。いずれにしても、ここ数年よりも関心が高まっており、我々の広報や計者活動の必要性を強く感じた。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

| | | |
|--------|---|--|
| 1 | フェアトレードについて | |
| 相談内容 | 高校生に対して国際協力を知ってもらうためにフェアトレードを紹介してゆきたい | |
| 対応内容 | 北海道でフェアトレードの活動をしている団体も含めて、紹介をした。また東京などで活動している団体についても説明をした。学校でも授業の中でフェアトレードについて進めてゆきたいという意見が多く、いろいろな資料を元に説明をした。 | |
| 特筆した理由 | ①フェアトレードについての関心が学校現場からも高まってきているため ②国際協力に入り口としてフェアトレードを捉えている傾向が強いように感じたため | |
| 2 | NGO活動の推進について | |
| 相談内容 | NGO活動を進める上では、どのような法人格をとって進めた方がいいか | |
| 対応内容 | NGO団体の多くはNPO法人格をとって活動していることを説明した。また、公益法人改革についても説明をして、目指すべき団体の形を確認した。また、NGOとしてのミッションと経営の両立について、セクターの連携の必要性や、広報の仕方などについても説明をして、改めて団体としてどう進めてゆけばよいかということを検討してもらうように促した | |
| 特筆した理由 | ①NGO設立に対する関心が高まっているように思われるため ②退職後の場所としてのNGO活動を捉える人が多かったため | |
| 3 | NGOへの就職について | |
| 相談内容 | 大学を卒業した後に、NGO業界で働きたいと考えているがどのようにしたら良いか | |
| 対応内容 | 現実には、大学院などでNGOについて学び、更には社会人経験も経て、NGOでの経験を積みながら活動する人が多いということを説明した。また、実際に就職した場合、どのくらいの待遇で働いているかという事例も示しながら、NGOへの就職の厳しさと、やりがいや可能性について話をした。 | |
| 特筆した理由 | ①就職の場所としてNGOをあげる学生が多くなっているため ②現在当団体では若者の雇用促進を行っているが求人への厳しさを改めて感じるため | |